



謹賀新年

年頭にあたって

福島地区電友会
会長 山田 齊



明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、会員の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は、コロナ前の日常生活に戻り、各種のイベントも多く開催された様です。

11月7日開催のOB・OG交流会は原町・相馬地区と合同開催となり、来賓や現役社員を含め昨年より約60名多い140名の方が参加し、祝舞やバンド演奏の余興と共に、久しぶりに会う方々と笑顔で歓談される等、楽しめました。

1. 電友会組織も縮小！

会員の高齢化による退会と新入会員が少ないので、全国的に会員が減少する中、東北の地区組織では統合・解散する状況が出てきました。

単なる会員数の減少より、事務局機能が維持出来ない事が要因と思います。

県内では「いわき電友会」が、令和6年末で活動を休止し、年度末に解散となります。

これも、役員の高齢化と交代が出来ず、各種イベントやサークル等の運営に支障が出てきた為と聞いています。

電友会活動は、「旧知の仲間が共に今を楽しむ」ための場を設けることと思っています。

サークル代表者の方がご苦勞して運営いただいている例会等や、事務局が企画する観桜会・新年会等の懇親会及び文化講演会等になります。

多くの会員に参加いただく為に、取り組みの継続や工夫が大事と、改めて感じました。

2. 新入会員の勧奨！

今年度は、退職された方も少なく、新入会員は未だ1名の状況です。

NTTグループ各社に定年後も継続して働いている方を含め、お知り合いの方へ入会の呼びかけをお願いします。

3. サークルの参加者を増やしたい！

事務局へ連絡いただいた、サークルの活動状況からは、高齢となり自家用車の運転を止めたので例会参加が難しい方が増えているようです。

少し遠回りでも同乗させていただく、家族も一緒に参加いただくなどの方策により、参加者を増やしたいと思います。

サークルへの「お試し参加」を含め、多くの方に声を掛けていただくようお願いいたします。

4. 趣味の継続と発表の場！

かつて取り組んでいました「余技作品展」は、平成28年を最後に中止していました。

出展数や来場者数の減少と、準備をする実行委員の苦勞が主な要因です。

新たな形の「趣味の発表の場」を12月11日と12日に開催しました。

人生100年時代と言われていますが「健康寿命を伸ばす」「脳年齢を若く保つ」には、趣味を持つことが勧められています。

趣味の発表の場として、ゴルフ等のスポーツ系趣味は試合形式の例会が有り、電友会のサークルでも活動が定着しています。

一方、写真・絵画・工作物などの趣味は作品の発表と鑑賞かな？と考え企画しました。

製作者が作品を事務局へ提出するだけでなく、会場で来場者等へ説明する事で、趣味への想いを伝えられた様です。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とします。

年頭のご挨拶

NTT東日本 福島支店
支店長 大橋 真孝



新年あけましておめでとうございます。

福島地区電友会の皆さまには、日頃からNTT福島グループの事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年7月に畠山支店長の後任として着任いたしました。早いもので着任後半年が経過いたしました。今回が2回目の福島勤務となります。14年前に東北大震災を挟んで3年半勤務をさせて頂き、現在も能登で発生した地震の復旧復興が道半ばではありますが、東北大震災からの復旧復興を目の当たりにし、社員が一丸となって地域の復旧復興に取り組む姿を見て、NTTで働いていることの誇りを感じたことを昨日のこのように思い出します。いつの日か、また福島での勤務ができることを願っておりましたが、この度、支店長として再来福することとなり、福島の地域のため、またNTT福島グループの現役、OBOG社員のために微力ながら恩返しに尽力していきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

去年は気候変動の影響がますます深刻化し、猛暑が続く異常気象や日本各地で自然災害が頻発した年でした。これに伴い、再生可能エネルギーの導入や脱炭素化の取り組みが加速し、世界各国で環境政策の強化が求められてきました。また、テクノロジーの進化が社会を大きく変え、AIや自動化が産業や生活のあらゆる分野に浸透してきており、人手不足の解消や生産性向上に向けたICT技術の活用が必要不可欠な社会となってまいりました。政治面では、国際的な緊張が続く中、グローバルな協力と対立が交錯し、特に米中関係や地域紛争が続いており予断を許さない状況が続いております。国内においては経済格差や高齢化社会の問題、気候変動影響での災害被害、社会保障や福祉政策の見直し、防災力強化が急務となり、これらの課題に対応するため、持続可能な社会の構築を目指す動きが一層強まった一年であったと感じております。

NTT東日本福島グループでは、地域や行政機関との連携協定を積極的に締結しながら、地域や社会から求められる課題に対し、地域のみなさまとともに持続可能な循環型社会の共創を牽引し、「地域の未来を支えるソーシャルイノベーション企業」をめざし、夢や希望を感じられる社会づくりをご支援できるよう取り組んでおります。

コロナ禍のリモート需要で光アクセスサービス需要が高まり飽和し、昨今は光アクセスサービスの純減が続いており事業収入への影響も出てきております。一方このような状況の中で世の中のスマート化や省力化が進み、通信を手掛ける我々NTT東日本グループは既存分野のみならず、新たな収入基盤の強化にむけ成長分野での新たなビジネス創出へ挑戦しています。

去年はこれまでの通信事業で培ってきたノウハウやアセット、NTTグループの強みを活用し、地域のステークホルダーと共にデジタル技術による地域課題解決、価値創造、まちづくりに積極的に取り組んできました。

いくつかの事例を紹介いたしますと、一次産業が主な産業である奥会津地域の観光需要喚起し来訪者の拡大や、外部からの需要拡大を見込む活性化の一つとして、只見線利用者の二次交通課題解決のとしてNTTル・パルクと連携し、カーシェアリング事業を展開いたしました。合わせて人流分析をおこない来訪者の特性を把握し、観光誘客につなげるコンサルティングをおこなっております。

設備部のノウハウ・アセットを活用した取り組みとして、社会インフラの老朽化の進行や技術者の減少が懸念される中、放送局で所有している放送アンテナの鉄塔点検を、これまでの専門業者が足場を組んで昇降しながらの目視確認作業から、設備部社員がドローンを飛行させ鉄塔を撮影。塗装の劣化、錆・破損等を確認し、高所作業による危険作業の低減、安全性向上、作業時間の短縮・人件費の削減等のスマートメンテナンスモデルをトライアルで実証しました。将来のAI画像診断導入を目指し、お客様の困りごとを解消するビジネスモデルの創出に励んでおります。

再生エネルギー分野の取り組みとして、土湯温泉観光協会様と温泉熱を活用した発酵食品製造実証ラボ「おららの温泉納豆ラボ」のオープンに参画し、現在ICT技術を活用した納豆製造が土湯温泉でおこなわれております。

また、土湯の強みである地熱エネルギーを活用した観光振興による経済循環の実現に向け、土湯温泉観光協会様と共に土湯温泉活性化にむけた取り組みを継続しております。

これからも地域の社会解決のパートナーとして、福島の一層の復興、創生に貢献して参りますので、皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

結びに、福島地区電友会の益々のご発展、会員の皆さまのご健康・ご多幸を心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

■NTT福島グループOB・OG交流会模様

令和6年11月7日（木）ウエディング・エルティに於いて、NTT福島グループOB・OG交流会が開催されました。

参加者は140名と、コロナ等で中止前の参加人数に戻る状況となり、多くの方々が楽しみにしておられたと感じました。

余興では、近内久子さんによる舞踊「千代の寿」を演じていただきました。次に、二階堂政則さんがリーダーのバンド“ふれんず”に「思い出のフォークソング」を演奏いただきました。懐かしい曲に自然と身体も動いてしまいました。

その後、カラオケタイムでは、沢山の方の熱唱に会場から大喝采を受けました。

今回も、「電電ありの実会」へ募金の協力をお願いしたところ45,135円が集まり、電友吾妻会の伊藤邦子さんから大橋福島支店長にお渡しし、年末の青葉学園慰問時に役立てていただきました。



■文化講演会 開催模様

令和6年11月7日（木）の午前に、NTT福島グループOB・OG交流会の第1部として、「文化講演会」を開催しました。

演題は、福島市の中心にそびえていて、庶民の憩いの場所となっている「信夫山」について、講師に守谷早苗様をお招きし「信夫山～神々が棲み、仏陀が鎮護する山」を講演いただきました。

参加者の身近な場所にある山なので、皆さん熱心に聞かれていたため、講師の守谷様も熱が入り予定時間をオーバーするほどお話しされ、大変有意義な講演会となりました。



各種会議模様

■第2回役員会 会議模様

令和6年9月19日（木）、NTT福島支店山下ビル会議室で第2回役員会を開催しました。

主な議題は、12月に開催予定のライフワーク展の準備状況・会員への周知等やOB・OG交流会と文化講演会の準備状況と役割分担等について意見を出し合いました。



■第3回役員会 会議模様

令和6年12月19日（木）、北町「珍萬」で第3回役員会を開催しました。

主な議題は、令和6年度活動計画の進捗状況確認と、新年会の準備や役割分担、役員改選等について意見を出し合いました。

会議終了後は、忘年会を行いました。



巳年生まれの方の抱負 1 / 4

（生年月日順）

■松浦 恭雄さん

（1941年生まれ）

明けましておめでとうございます。

私自身変わりなく元気に過ごしております。



■横山 紘さん

（1941年生まれ）

8回目（生まれた年を含む）の干支である巳年を迎えました。NTTを退職し早30年、大した事もしてこなかったな、と反省しきりです。最近、病院通いも増え、先生に相談すると「加齢です」の一言。

でも、去年出来たことは今年もやるぞと、体を鍛えてゴルフにも行ける様頑張りたいと思っています。



■齋藤 光夫さん

（1941年生まれ）

明けましておめでとうございます。

ついに来たかと言いつつ時の経つのは早いもので、退職から健康には色々と気を付けて来ましたが、ここ数年身体もガタがきて、薬を飲むのと医者通いの日々を送っております。

今後は、残してある楽しみを送りたいと思っています。

なお、皆様の御多幸をお祈り申し上げます。



■井上 健一さん

（1941年生まれ）

明けましておめでとうございます。

昨年、若いころからやっていた山登りを未練はありますが、思い切ってやめました。やめた理由は、アキレス腱炎をおこしたことや、今まで楽に登れていた山で息切れするようになったためです。歳（84才）を考えれば仕方ないと思っています。

これからは、写真撮りや麻雀サークル、花や野菜作りを楽しみながら健康に留意して過ごしたいと思っています。



已年生まれの方の抱負 2 / 4

(生年月日順)

■高橋 敏男さん

(1941年生まれ)

あけましておめでとうございます。
年男になってしまいました。他人
事と思っていたのに。長年健康でこ
れたのも家族のおかげだったと思う、感謝です。

また、現職時代職場の皆さんや地域の皆様に
何かとご協力をいただき感謝でいっぱいです。
私も健康には気をつけながら大事をとっております。

地域活動として役員の相談的なことをやって
おります。

健康第一、皆さまもよき年でありますよう祈
念いたします。



■横沢 浩さん

(1941年生まれ)

新年明けましておめでとうございます。
皆様によろしくお伝えください。



■渡辺 宏さん

(1941年生まれ)

新年あけましておめでとうございます。
今年7回目の年男を迎え、町内会役

員と、趣味のバトミントクラブの会長を後輩
にバトンタッチし、アイウエオ生活を今年の抱
負とした。

ア、挨拶を上手に礼儀良く
イ、いつも明るく朗らかに
ウ、うなずき上手で聞き上手
エ、笑顔を見せて、心良く
オ、おだて上手にほめ上手

この抱負を頭に入れて若い人と一緒に大好き
なバトミントンを健康のために頑張るつもりで
す。



■菊田 皓造さん

(1941年生まれ)

明けましておめでとうございます。
N T T 36年在職のうち福島勤務は
2年(S 5 8・5 9)、自然豊かな
地を住居と決め、平成6年から30年、のんび
りと過ごしてきました。されど、2011年の
東京電力の原発事故。電力業務を長く携わっ
てきた私から見て東電の非常時の備えに疑問と怒
りを感じる。

もっと、対策を講じていれば防げたと考えて
いる。これからも、原発事故の処理を見届けな
がら、自然豊かな地で残りの人生を楽しんでゆ
きたい。



■菅家 政利さん

(1941年生まれ)

明けましておめでとうございます。
7回目の年男となりますが、12月
初めに誕生日を迎え、ようやく「満
84歳」になります。

私の経歴ですが、元県警の警察官でした。

定年退職後に嘱託社員として、N T T福島支
店にお世話になり、ほとんどの仕事が電話苦情
の常習者や暴力団対策でした。

電友会の「里山トレッキングクラブ」や「ゴ
ルフクラブ」にも参加しておりましたが、体力
的に限界となり、数年前に辞めました。

今は、毎日約30分の散歩を続けており、何
とか「88歳の米寿」までは、生きたいと思っ
ております。



■三浦 慎也さん

(1941年生まれ)

新年あけましておめでとうございます。
今年7回目の年男を迎える事
となりました。

若い頃は、こんなに長生き出来るとは夢にも
思わなかったし、想像すらできませんでした。
これも健康でいられたからと思っています。

退職後、自分一人で運動できない方なので、
サークルに入会しました。仲間と一緒にだと張り
合いも出るし、いろんな話しも出来るのでとて
も有意義でした。また、パークゴルフにも参加
して、たまたま優勝したりすると、またやる気
が出てくるものです。

これからもこれらの運動を続けていけたらいい
なあ～と思っています。一日一日を大切に
楽しく元気で過していけたら最高です。



巳年生まれの方の抱負 3 / 4

(生年月日順)

■渡辺 研一さん

(1953年生まれ)

72歳となり、さて抱負は？
と言われてもなかなか思いつかないもので、結局のところやはり「健康」なのかなというのが一番でしょうか。
去年は「医者通い」という現在も続いている行事(?)を初めて経験し、病院へ通う方を「大変ですね」などと慰めているつもりでしたが、自分も通い始めて一年を迎えいつまで続けなければならないのと自問することもありました。

「一病息災」という言葉もあるようなので、上手に付き合っていきたいと思っています。

そうでなければ好きな写真を撮影に飛び歩けませんので・・・。



■渡辺 哲哉さん

(1953年生まれ)

新年あけましておめでとうございます。

還暦を過ぎ初めての年男を迎え、
今も気持ちは二十歳代のままで身体がついて行かなくなりました。

年男としての抱負として特に意識したこともなく、今年一年家族8人と愛犬一匹が健康で過ごせる事を大切に思っています。

皆様も今年一年健康に過ごせる事を心よりお祈り申し上げます。



■菅野 裕行さん

(1953年生まれ)

明けましておめでとうございます。

退職後は、あまり年令を意識することなく生活していたため、今回寄稿のお話があるまで、自分が年男の年だということは、全く頭にありませんでした。

髪も隙間が多くなり、左右の目共に白内障の手術を受けましたが、今はできるだけ退職時の体力に近い状態を維持していけるよう体を動かすことを心掛けるとともに、人との適度な関わりを持って過ごしていきたいと思っています。



■高橋 稔さん

(1953年生まれ)

新年あけましておめでとうございます。

六回目の年男を迎え、思い返すと
楽しく過ごせたな!と思っています。

振り返れば、五回目の年男の年に退職し、その年の十一月に生まれた孫娘が今年、十二歳となります。

孫が六人おり、辰年、巳年、未年、申年、酉年、戌年と続くので毎年正月に集まると大変な事になります。

新年を迎える毎に年月の流れの速さをつくづく感じながら日々を過ごしている毎日です。

これからは、七回目の年男を迎える事を目標に、一日・一日を楽しみつつ、孫達の成長を見守りながら、健康に十分留意し、元気に過ごして行きたいと思います。

最後に皆様のご多幸・ご健康を心よりお祈り申し上げます。



■大戸 実さん

(1953年生まれ)

明けましておめでとうございます。

現在まで大きな病気、怪我もなく過ごしてこられたことはひとえに家族の

おかげと感謝しております。今、実感するのは年々体力の低下です。無理せず体のケアを心掛け、果樹栽培と趣味の木工、そして低山トレッキングを一日でも長く続けられる日々を過ごしていければと思っています。最後に皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



■堀内 良巳さん

(1953年生まれ)

明けましておめでとうございます。

早いもので6回目の年男を迎えることができました。家族、お世話にな

った方々に感謝申し上げます。最近、体力の衰えを痛感しております。

退職後は、健康の維持のために、ウォーキング、ゴルフ、下手なそば打ち、家庭菜園での野菜作りなどをしながら楽しんでいます。

これからも、健康に留意しながら過ごして行きたいと思っています。



巳年生まれの方の抱負 4 / 4

(生年月日順)

■高橋 泰彦さん

(1953年生まれ)

明けましておめでとうございます。
退職後は就農し、年間均一に仕事があるように計画し、米、桃、あんぽ柿と3種類作付けし、一年中忙しく仕事をしております。

古希を迎えさすがに体力が衰えてきて米(30kg)を持ち上げる事もつらくなってきました。妻からは作付け面積を減らしてはどうか言われるようになりました。

しかし、生産した「美味しい」と言ってもらえることが嬉しくて、さらに良品を作ろうと日々勉強しておりますが、最近の温暖化で今までの作り方が通用しないこともあります。今年も手伝ってもらっている妻に感謝し、農業を楽しみたいと考えています。



■松本 隆夫さん

(1953年生まれ)

明けましておめでとうございます。
月日の経つのは早いものでもう6回目の年男、自分では変わらないと思っておりますが、年相応に成長？しているなあと苦笑いする事が多々あります。次の年男も元気に迎えられよう、夫婦共に健康に留意し過ごして行きたいと思ひます。

最近、意を決して終活(物置等の不用品整理)を少しずつ頑張っております。

新たな年は、皆々様に幸多く希望に満ちた年になる様にお祈り致します。



■大沼 正之さん

(1953年生まれ)

新年明けましておめでとうございます。

早いもので、この世に生を受けてから6度目の年男を迎えました。これまで大病する事も無く過ごしてこれたことに感謝しております。

さすがに足腰の衰えを痛感する昨今ですが、家内共々孫達が一人前になるのを見届けられるように老体に鞭打って頑張りたいと思ひます。



■伏見 吉弘さん

(1953年生まれ)

あけましておめでとうございます。
還暦で子供たちにお祝いをしてもらってから12年。

ただ、時の流れの速さにただただ驚き。

この12年、体のケアとそば打ちに明け暮れた日々。

そして、多くの先輩たちにご支援とご協力をいただき、退職者の会の役員として過ごした12年。

「楽しく・明るく・元気よく」で次の12年に向けスタート！



■高橋 秀樹さん

(1965年生まれ)

自分が思っているよりも時間というのは早く過ぎるもので、まさかの還暦を迎えてしまいました。子育て

も終わり、孫も二人になり、現在は母と老犬二匹の介護に向き合いながら新たな道を歩んでおります。

ひとつの区切りと思いつつも、目の前の雑用に追われる日々を元気に過ごして行きたいと思っております。



《その他の年男の皆さん》

[1941年生]

横山 五郎さん

[1953年生]

升澤 俊司さん

蒲倉 義夫さん

角田 年弘さん

遊佐 哲夫さん





■佐久間 好治さん

～私のライフワーク

“バードカービング（木彫りの鳥）”～

出会いは、三十数年前とアウトドア雑誌その名もズバリ“OUT -DOOR”の体験募集で応募、東京まで出かけ、作品を見て、作品集の雑誌を買い、模倣しました。

ある時作成中の“ゴジュウカラの飛翔体”を持って息子は「ブー～ウン」と振り回して遊び、壊して夫婦喧嘩、それ以来…

子供が自立、喧嘩も会話も殆ど無くなり、その未完成の白い木鳥（下地塗り）が本棚にポツンと残されていたのを見て再開、その他の未完成数体完成させた。

最初はこれで辞めようかと思ったが、アクリル絵具や筆、彫刻刀を買い足したので残りの木材に手を出したのが今に続いています。

これまでの作品で思い入れの大きな物“ハヤブサ、（自称）は、作成時間は不明、開始は2015年頃から着手、2021年9月完成。

削ってはパテで盛り、削って盛りの反復で時間のみ削り、あれやこれやと迷いながらも下地塗りまでは何とか形まで出来た。

しかし、色も写真でしか見たことが無く、資料写真を見るたび色が違う、下地の白いまま（白いハヤブサも居る）埃を帯び灰色になる頃、「私はこう見える」と居直り、完成にこぎ着けました。

生きて居る内に出来上がって良かった

いや、まだ死ねない！チョウゲンボウが白い！



■「私たちのライフワーク展」開催

令和6年12月11～12日の2日間、福島市森合にある花の写真館をお借りしまして、「私たちのライフワーク展」を開催しました。

出展者19名、作品30点は会員それぞれの力作が展示されました。

生憎の悪天候にも関わらず38名の方が来場され、興味深く熱心に作品をご覧頂きました。



施策の取り組み

■福島ひまわり里親プロジェクト

福島ひまわり里親プロジェクトへの協力ありがとうございました。

収穫者は4名、収穫量は 2.72kg でした。

ひまわりの種は、11月19日にNTT福島支店へお届けしました。

今年も多くの方のご協力をお願い致します。

■「NTT東日本ふくしまの森」プロジェクトへ参加しました

NTT東日本宮城事業部グループでは、2017年に「NTT東日本ふくしまの森」として、相馬市磯部字大洲地区の国有林地内に海岸防災林の再生のための植樹を実施し、成長活動として下草刈り等を行っています。

10月19日の当日は、「雨」の予報が外れ、気温が30度を超えて相馬が10月で夏日？と記録を更新しました。

全体の参加者は40名で、OB/OGは福島から4名・相馬から4名と2割の協力がありました。



■食用廃油の回収活動の状況

地球環境保護活動として、各会員の皆様及び介護施設・保育園・食堂から出る食用廃油の回収に協力頂きまして有難うございます。

回収した食用廃油は、二本松の障害福祉サービス事業所(菊の里)でバイオディーゼル燃料として生まれ変わり、環境保護活動に寄与しています。

11月末累計で、3310となっております。

会員の皆様、引き続きご協力をお願いします。

■不良設備情報の提供

今年度の取り組みについては、地区だより等をお願いをしていますが、会員からの提供は8月以降 3件 (累計：5件) となっており、NTTへの報告は事務局からWeb登録しました。

更なる情報の提供をお願いいたします。

《朗 報》

【電友会ボランティア活動賞の受賞】

ふくしま虹の会代表 小笠原 生雄さん

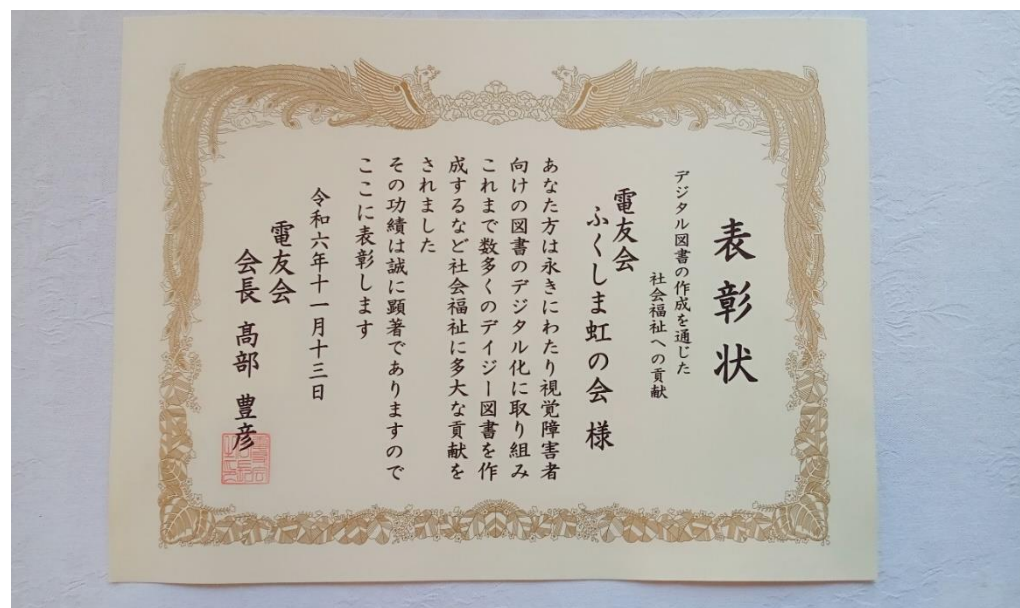
この度、福島地区電友会ITサークルの有志による「ふくしま虹の会」が、ボランティア活動賞を受賞されましたのでご紹介します。

この表彰については、永きにわたり視覚障害者向けの図書のデジタル化に取り組み、これまでに数多くのデジタル図書の作成を通じて、社会福祉への貢献によるものです。

11月13日 本部主催の表彰式が「KKRホテル東京」において行われ、「ふくしま虹の会」の代表者として小笠原生雄さんが授賞式に出席されました。

会員皆様に祝福したいと思います。

“受賞おめでとうございます！”



訃 報 情 報

「前号（R6.8.1）以降に連絡のあった方」

■ご冥福をお祈りします

○加藤 良栄 様
（令和6年7月15日 享年94歳）



○保田 實 様
（令和6年9月29日 享年89歳）

○佐藤 英雄 様
（令和6年10月11日 享年95歳）

○高橋 二郎 様
（令和6年12月1日 享年92歳）

○佐藤 新一 様
（令和6年12月10日 享年89歳）

事務局 だ よ り

《3月までのスケジュール》

1. 「新春の集い新年会」
今年の「新年会」は、下記のとおり開催予定しています。

記

1. 実施日 令和7年1月24日（金）
2. 時 間 14時30分～
3. 場 所 ラコパ福島（労金会館）5階

2. 第4回役員会議
 - ・日時：3月中旬予定
 - ・場所：山下ビル6F会議室（未定）

【参 考】

《特殊詐欺に注意！！》

国際電話番号による 特殊詐欺が急増中！！

+1 や +44 などから始まる番号、たとえば

+1312345678
+44698765432



このような表示の電話には出ない、
かけ直さないよう、ご注意ください。

海外との電話が不要な方は、発信・着信を
無償で休止できます

今すぐお申し込みを ↓ ↓

固定電話・ひかり電話対象です。そのほかにも一定の条件がありますので、詳しくは申込みの際に確認ください。

お申し込み・お問い合わせはこちらから

国際電話不取扱受付センター

電話番号 **0120-210-364**（通話料無料）

取扱時間 オペレータ案内：平日午前9時から
午後5時まで

自動音声案内：平日、土日祝24時間

